

国道425号の土砂撤去及び四ノ川林道補修作業

◇実施日 8月29日(火) 晴

◇参加者 沖崎吉信、湯川一郎 2名

新宮市役所 小林高太、前地清光、澤隆弘

国道425号347標識付近に防護ネットからはみ出た土砂があり、翌日実施する東大生体験学習の送迎バス(全幅2、5m)が通行できないことから、土砂を撤去する必要があった。

前日に沖崎代表が市役所文化振興課に、バス会社への送迎ルートの確認要請と土砂撤去作業を当方で行う旨の連絡を入れた。その後、文化振興課から土砂撤去にあたり市の職員3名も出向くとの連絡を受けた。

当日、午前9時30分に丹鶴ホール駐車場に集合し、作業場所に向かった。市の方でも土砂撤去に使用する道具を準備されていたこともあり、5名で行った結果、30分もかからずに作業が終わった。

まだ時間も早く、市の職員(2名)は翌日の体験学習に同行されると聞いたことから、事前に補給路登山口を見てもらうこととし、併せて補給路補修についても協力をお願いしたところ快諾してもらえた。

四ノ川林道に入って300m先の荒れた道路に持参した土嚢袋の土を撒き整地し、補給路登山口に向かった。補給路登山口には村吉さんが来ておられて、溝に溜った石を掻き上げる作業をされてい

る最中であった。村吉さんから池郷林道等の情報を聞くと、台風7号の影響で道は荒れ、一般車両で通行するのは避けるべきとのことであった。

補給路登山口付近に土の取れる盛り土があることから、市の職員にもお手伝いしてもらい、空になった土嚢袋に土を詰めた。12時過ぎに市の職員の方達には先に帰途についてもらい、我々2人で再度、補修箇所まで戻り土を撒き整地した。

これで今回の作業は終了したが、四ノ川林道区間で送迎バスが擦りそうな枝・葉を鋸で切り落としながら戻った。浦向へ戻る途中、浦向道の入山地点の標識が支柱から外れているのに気づいた。次回、行仙宿に向かう際に、支柱を2本立てに変えて、取り付け直すことにしたい。



土砂の撤去



土嚢袋への土詰め



外れた標識

行動タイム

新宮(丹鶴ホール) 9:30→10:49 R425土砂撤去 11:13→11:25 林道補修 11:36→11:43 補給路登山口 12:10→12:30 林道補

修二：35→14：40 新宮（沖崎宅）